

2026 年 10 月 9 日

**【SUPER FORMULA 第9戦・第10戦 / 富士スピードウェイ】
大会直前情報**

全日本スーパーフォーミュラ選手権は、この週末に富士スピードウェイにて第9・10戦を開催します。ヨコハマタイヤは、この国内最高峰フォーミュラカーレースにおいて2016年からオフィシャルタイヤサプライヤーを務めています。2023年からは、(株)日本レースプロモーションが進めるモータースポーツの持続可能な発展を目指すプロジェクト「SUPER FORMULA NEXT50（ゴー）」に賛同し、高いレーシングパフォーマンスを発揮しながら、素材の一部を石油由来ではなく再生可能なバイオマスなど植物由来のものに転換した「サステナブルなレーシングタイヤ」を、開幕戦から最終戦までドライ用・ウェット用それぞれ1スペックでシーズンを通して供給しています。

2025年からは新たに開発したタイヤを投入し、「再生可能原料」と「リサイクル原料」の比率は46%に拡大しました。*

たとえばゴム分としては、原材料の一部にバイオマス原料を用いたマスバランス品を使用し、従来同等の性能・グリップ力を実現しています。また2025年からは、タイヤ原料の一つであるシリカについても、コメの収穫時に廃棄される「籾殻（もみがら）」から抽出・生成した籾殻シリカをウェットタイヤに採用しています。植物由来であり本来廃棄されるものを有効活用することも、持続可能な社会に向けた重要な取り組みの一つです。

*（ドライ用・ウェット用の平均値）

また、バイオマス資源など再生可能原料と併せて使用しているのが循環性資源であるリサイクル原料です。タイヤコンパウンド配合剤の一種である亜鉛華は、電気炉で鉄スクラップを溶解した際に発生する電炉ダストを回収・精製して配合剤に生まれ変わらせたものを一部使用。また、使用済みタイヤを粉砕・脱硫して生成した再生ゴムについても一部の部材に使用しています。一度使用した資源を再利用することで、資源の循環利用に努めています。

現在、ヨコハマタイヤがスーパーフォーミュラに供給しているサステナブルなレーシングタイヤは、環境に配慮した素材の採用と、その一方で、速さを追求するレーシングタイヤとしてのグリップ性能の維持・向上に加え、過酷なレースを戦い抜く耐久性も高いレベルで両立させています。

ヨコハマタイヤはこれからも、「速さ」と「サステナビリティ」の両立を掲げ、タイヤの開発と供給に取り組んでまいります。1000 分の 1 秒を争うトップドライバーたちの真剣勝負とともに、モータースポーツの未来を持続可能なものにするためのヨコハマタイヤの挑戦に、ぜひご注目ください。

